

えがおがいっぱい

令和6年1月4日
秦野市立ほりかわ幼稚園

2学期の子どもたちの様子をお伝えします

<一緒に踊ってみたい!!>

運動会前に年長児数人が「園長先生見ていて！」と遊戯を見せてくれました。年長児が踊っている姿を目を輝かせながらじっと見ていたのは年少の女児たち。早速ペーパー芯で自分たちのパチを作り、年長児の後ろに行って真似をしながら踊りだしました。

「ここで手を前に出してポーズだよ」と優しく教えてくれる年長児。「先生、もう一回踊りたい」と繰り返し踊りを楽しんでいました。

年少児にとって年長児は憧れの存在です。



<ぼく・わたしの宝物>

ほりかわ幼稚園では毎年、年長児の2学期に陶芸体験をしています。

堀川公民館で活動されている陶芸サークルの方々にご指導いただき、お皿や自分で作りたいものを予め考えて作陶しました。自分でイメージしたものを形にする難しさを感じながらも陶芸サークルの方々の手伝ってもらい、完成させることができました。完成したお皿を見て子どもたちもご満悦。

卒園児の保護者から「大きくなっても宝物だと言って大切にしています」という言葉を聞くと大変嬉しく思います。



<親子で地域を歩こう>

毎年11月上旬に親子で地域を歩く“わくわくウォーク”を今年は11月9日に実施しました。

桜土手古墳公園やもものきばら南公園、さくらどて公園等、地域内にある公園や河川敷にポイントをおき、先生たちが趣向を凝らしたゲームを準備して待ちました。

親子で一緒にクイズの答えを考えたり力を合わせてゲームしたりと楽しみながら歩いていました。保護者の方からは「なかなか子どもと二人でゆっくり歩く機会がないのでとても楽しく過ごせました。」等の感想をいただきました。

